

## 第199回:兵隊の位で云うと

天真爛漫な性格と、独特なしゃべり口調で誰からも愛された「裸の大將」こと、山下清画伯(1922~71)。彼が大將と呼ばれたゆゑは、なんでも「兵隊の位」に譬えて、物事を評価していたことによる。この「山下語録」は一時期、流行語になったことがあるくらいだ。その山下大將がある座談会の席で、自分の画家としてのレベルを「ボクの絵は兵隊の位で云うとどのくらいかな?」と尋ねたことがある。訊かれたのは、たしか徳川夢声だったと思うが、「梅原龍三郎が大將か中將とすれば、キミは佐官だ」と云われた画伯が深く納得した様子であったのが印象に残っている。生涯にわたり放浪の旅を愛した裸の大將だが、有名人になると行く先々でお座敷が掛かるようになり、宴席が始まると市長や町長は画伯に街の印象を尋ね、判で押したように「わが市は兵隊の位で云うとどのくらいですか」と質問したという。それに対し山下画伯も心得たもので、いつでも「〇〇市は兵隊の位に直すと、少佐かな」と答えた。これは彼なりの気配りであって、田舎の都市を将軍に譬えるのは、いかにもたこにもわざとらしいし、そうかと云って、少尉や中尉では相手に失礼だと云うわけで、絶妙のバランス感覚で少佐に擬えたと云う。人は見かけによらないもので、裸の大將は世上云われているよりは余程聡明な人物だったようだ。

閑話休題、いま日本には陸海軍がなくて、自衛隊があるのみだ。自衛隊は軍隊とは似て非なるものらしく、その階級は大將、中將ではなく、陸將、陸將補、一佐、二佐となっており、山下画伯の真似をして「兵隊の位に直すと空將補か一佐かな」なんて言うと、ずいぶん間の抜けた台詞になってしまう。これが世界最大級の兵卒を有する中国人民解放軍では、上から上將、中將、少將、佐官が大校、上校、中校、少校、尉官が上尉、中尉、少尉と、日本の昔とも今とも、やや異なる呼び方をしている。昔は元帥も大將もいたのだが、60年近く前に発令されたのが最後である。

中華人民共和国は人民解放軍が作った国であり、建国から6年経過し、朝鮮戦争も終わり、世の中が漸く落ち着いてきた1955年に階級制が復活して、一気に大量の将軍が誕生するまでは、階級のない風変わりな軍隊だった。解放軍出版社「将帥名録」によると、このとき発令された将帥は元帥(10名)、大將(10名)、上將(57名)、中將(177名)、少將(1360名)となっている。彼らは建国の英雄として今でも深く尊敬されており、江沢民や胡錦濤が人気取りのために粗製乱造したヘッポコ上將たちとは区別して、「開国上將」のように、アタマに「開国」を付けて呼ばれている。実はこのとき、中国の指導者全員が元帥や大將に任命されたわけではない。毛沢東や周恩来、劉少奇に対しては元帥任命も恐れ多いと考えたのか、毛周劉の三人は別格扱いとなり、同時に人民解放軍の指導者であっても、政治畑の鄧小平や、主計兵站の責任者であった陳雲のような人物は対象外とされた。何れにしても新中国をつくった将軍や政治家たちの政治遺産はその子弟たちに引き継がれ、彼らは長ずるに及んで「太子党」としてエリート・コースを歩むことになり、そのなかには、いまの習近平政権下で重要なポストを勤めている人物も少なくない。しかし太子党のプロフィールを、じっくり拝見すると、いま政権中枢で活躍している要人は、兵隊の位で云えば上將、中將、少將級の子弟が多く、最上位の元帥・大將級の子弟は案外少ないことが分かる。

これにはいろんな理由があるようだ。英雄色を好むと云う通り、超大物のなかには夫人を何度も取り替え、

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

その関係で家庭環境が複雑となり息子がグレた例もあれば、指導者の息子として、その存在が目立ちすぎ、スポイルされた結果、本人が勘違いして自滅したケースもある。父親が自分の政治リスクを回避するために、息子を政界ではなく、経済界や軍隊に進ませる例も多い。中国に「中国人民友好協会」という海外との民間ベースの交流窓口となっている団体があり、その会長が一昨年に陳昊蘇(1942～)から李小林(1953～)に交替したが、陳昊蘇の父は陳毅元外相(元帥)、李小林女史の父は李先念元国家主席(兵隊の位で云えば大将)だ。彼らの父親は建国の元老であったが、その子女は実権のない名誉職で終わりそうだ。鄧小平のライバルだった陳雲(兵隊の位で云えば元帥)の長男・陳元(1945～)も国家開発銀行の総裁を勤めたが、閣僚にはなれず、いま政協副主席という名誉職に就いている。劉少奇の子息の劉源上將(1951～)は習近平と極めて親しい間柄だが、解放軍では31名いる現役上將の一人に過ぎず、軍事委員会どころか、四総部のトップにも届いていない。習近平は彼を総政治部主任に据えたい考えだろうが、兵科や士官学校の序列を重視する軍隊で前例のない人事は発令しにくく、習近平に伝家の宝刀を抜く度胸はないだろう。

最近中国のサイトに水滸伝を人民解放軍に置き換えた傑作パロディを発見した。軍事オタクの作だと思うが、思わずパチパチ拍手したくなる力作揃いだ。水滸伝の登場人物として人口に膾炙している英雄豪傑は、兵隊の位で云えば元帥級の「天罡星」36人、大将級の「地煞星」72人、合計108名で構成されているが、戯作者はこれを新中国の軍事指導者に当てはめた。

天罡星の筆頭は宋江、次席は盧俊義だが、パロディ水滸伝では正副の指導者が毛沢東(宋江)、朱徳(盧俊義)、彼らを支える正副の軍師が劉少奇(呉用)、周恩来(公孫勝)となっている。日本でも中国でも子供に人気の武闘派では、大刀・関勝＝彭徳懷元帥、豹子頭・林冲＝劉伯承元帥、霹靂火・秦明＝陳毅元帥、双鞭・呼延灼＝林彪元帥の見立てになっている。続く第九位は弓の名人の小李広・花榮。彼は長身瘦躯の美男子のはずだが、作者は共産党にゴマをすり、テンチクリンの鄧小平を起用した。第十位の小旋風・柴進は鄧小平に平仄を合わせて陳雲だ。柴進は水滸伝のなかで一番の資産家であり、ここに経済通の陳雲をはめ込み、平仄だけでなく顔まで踏ませたところが見事だ。

習近平の父・習仲勲は大政治家ではあったが天罡星・地煞星に入っていない。いま獄中にいる薄熙来の父・薄一波が辛うじて地煞星に入ったのみで、現役太子党の張徳江、俞正声、王岐山、劉延東たちの親は全て108人の枠外だ。出世に毛並みは大事だが、超大物の少し下の「兵隊の位で云えば中將・少將」あたりが、プレッシャーもなく、親のコネも享受できて、有利な出世ポジションに立てるのでは。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年12月18日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。